第5学年学級活動(I)指導案

児 童 男子7名 女子6名 計 I 3名 指導者 小田 亮

Ⅰ 議題 「向田小学校 5 年生と仲良くなろう」

学級活動(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 議題について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、明るく積極的な児童が多い。係活動ではそれぞれの係が、学級のみんなを 楽しませる活動を企画して実行し、参加する児童も一緒になって楽しむことができている。

学級活動においては、これまでの学級会の経験を通して、学級会の進め方や話合いの約束などについては理解できている。また、学級会を重ねることで、子どもたちは、合意形成の仕方を理解しつつあるが、安易に友達の意見に合わせてしまったり、自分の意見だけを主張し、相手の意見を尊重することが難しかったりする児童がいるという現状である。

(2) 議題選定の理由

本議題は、2学期はじめに、今後の行事について話し合った際、議題案の一つとして挙がっていたものである。来年度の統合に向けて、合同学習を3回計画した中の最後の1回にあたる。子どもたちは、お互いの児童や学校について知らないことが多く、統合に向けた不安を多く抱えている。また、来年度は最高学年としてお互いに協力して学校を引っ張っていく立場となる。そこで、少しでも不安を取り除き、来年度に向けて児童同士の仲を深めたいと考え本議題が選定された。

本議題に係る活動は、子どもたちが、向田小の友達のためにできることを考え、自分の役割を果たしたり、仲間と協力したりしながら自己実現を図る過程において、自分や学級全体を高められるという視点からもキャリア教育に大きくつながると考える。

3 育成を目指す資質・能力

知識及び技能	学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
思考力、判断 力、表現力等	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
学びに向かう カ、人間性等	生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

4 評価規準

よりよい生活を築くための	集団や社会の形成者としての	主体的に生活や人間関係を
知識・技能	思考・判断・表現	よりよくしようとする態度
みんなで楽しく豊かな学級や 学校の生活をつくるために他者 と協働して取り組むことの意義を 理解している。合意形成の手順 や深まりのある話合いの進め方 を理解し、活動の方法を身に付け ている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

5 研究にかかわって

知る力	自他のよさや可能性を知る。	
高める力	自分の力を高め実践する。	
	他者にはたらきかける。	
◎つながる力	・向田小学校5年生のためにできることを協力して実行する。【知識・技能】	
	・相手の意見やその理由を聞き、考えのよさに気付いたり、共感したりしなが	
	ら自分の考えを伝える。【思考・判断・表現】	

〈「つながる」ための手立て〉

(1) 事前調査

向田小5年生に行った事前アンケートを提示することで、統合に向けた不安や楽しみを捉える ことができるようにする。

(2) 板書の工夫

キーワード(比べる視点)に沿って、賛成・反対意見を整理することで、考えのよさに気付いたり、共感したりしながら、自分の考えを伝えられるようにする。

6 事前の活動

日時	児童の活動	・指導上の留意点 ▷資料	◇目指す児童の姿 【評価】(方法) ☆研究にかかわって
		計画委員	
10/21(金) 休み時間 10/25(火) 休み時間 10/26(水) 休み時間 10/28(金)	・アンケートをもとに、提案理由を再確認・吟味する。 ・活動計画、学級会シートを作成する。 ・一人ひとりが考えた活動内容を収集・整理し、掲示する。 ・学級会シートに目を通し、書か	▽ 学級会シート▽ 学級会シート・学級会の見通しをもてるよう	◇司会と書記のそれぞれの役割や責任を果たして学級会の準備を進めている。 【態度】(観察) ◇学級会の進め方や、意見のまとめ方の見通しをもっている。 【知識・技能】(観察)
休み時間	れた意見を整理するとともに、 学級会の見通しをもつ。	に助言する。 ▷ 学級会シート	
		全員	
10/18(火) ~21(金)	・アンケートをもとに、統合に向け た不安や楽しみを確認する。	▷ アンケート	◇向田小学校 5 年生の実態をもとに、話し合うべき問題を発見している。 【思考・判断・表現】(観察) ◇提案理由を理解し、みんなで取り組むことで仲を深めることができる活動を考えている。 【知識・技能】(シート)
10/24(月) 朝の会 10/27(木) 朝の会	・議題と提案理由を確認する。 ・課題や提案理由をもとに、活動 内容を考える。 ・学級会シートに自分の意見を 書く。	・提案者の思いや願いを共有 することで、学級全員の問題 になるようにする。 ▷ アンケート ・提案理由を想起することで、 それに基づく意見や理由を 書くことができるようにする。	
		▽ 学級会シート	

7 本時の指導

(1) ねらい

意見の比べ合いを通してよりよい考えを明確にし、みんなが納得できる合意形成を図り、向田 小学校5年生との仲を深められる合同学習の内容を考えることができる。

(2) 本時の展開

		◇目指す児童の姿
児童の活動	・指導上の留意点 ・資料	◇日指 9 兄里の安 【評価】(方法) ☆研究にかかわって
も多く、統合に向けた不安もある る仲間に少しでも早くなれるよう い合同学習の内容をみんなで考	回となった。まだまだ、お互いに知らないこと。 ・来年、最高学年として一緒に学校を引っ張し、お互いを知ったり、協力したりできる楽し	
5 話し合うことの確認 話し合うこと① 合同学習の内容 話し合うこと② ①で決まったこと	を何にするか。	
6 決まっていることの確認 ・日時 月 8 日 (金) 5 校時 ・場所 教室または、特別教室(体) 7 話合いのめあての確認 8 先生から	・育館を含む) ・多様な意見のよさを生かして合意形成できるようにするための態度や発言の仕方を助	
9 話合い【話し合うこと①】合同学習の内容を何にするか。【話し合うこと②】①で決まったことの工夫をどうするか。	 言する。 ・①では、出た意見をキーワードごとに整理することで、提案理由に合った内容が明確になるようにし、合意形成を図りやすくする。 ・②では、提案理由に合っていて、実際にできる工夫については、積極的に採用する。 ・合意形成を図るときには、提案理由や、事前アンケートで明らかになった課題をもとに話し合わせる。 ・司会が進行に困ったときには、その時点までの話合いを整理し、何について話し合うべきかを助言する。 	☆相手の話を聞き、考 えのよさにしたりまさにしたり、共感分る。【 を伝えて・判断・表現】 ◇意見をまなのの形きに、多様のでは、多様のでは、多様のでは、多様のでは、多様のでは、多様のでは、多様のでは、多様のでは、多様のでは、多様のでは、多様のでは、多様のでは、多様のでは、多様のでは、多様のでは、多様のでは、表現、
10決まったことの確認 11ふり返り	・自己評価に加えて、友達のよかった点を相 互評価できるように助言する。	

12感想発表	・話合いにおいて「合意形成したことへの価	◇事前に確認した話合
13先生から	値付け」「今後の課題」「計画委員へのね	いの進め方をもとに、
14終わりの言葉	ぎらい」「今後の見通しや実践に向けての	学級会の進行に努め
	意欲付け」などについて簡潔に述べ、特に	ている。
	前回の話合いと比べての変容について称	【知識·技能】(観
	賛する。	察)

8 事後の指導

日時	児童の活動	・指導上の留意点 ▷資料	◇目指す児童の姿 【評価】(方法) ☆研究にかかわって
		計画委員	
11/2(水)	・決まったことを学級活動コー	・キーワードも掲示し、提	
	ナーに掲示する。	案理由で示された目指す	
		姿を共有する。	
		全員	
11/3(木)~	・合同学習の準備をする。	・全員が協力して準備ができる	◇分担した役割に責任をもっ
11/17(木)		ような環境を整えたり、助言を	て合同学習やその準備に取
		したりする。	り組んでいる。
11/18(金)	話合いで決まったことを合	・提案理由や、学級会で話し合	【態度】(観察)
5校時	同学習で実践する。	ったことなどを確認し、目的を	◇友達と恊働して取り組むこと
		共通理解できるようにする。	の意義を理解している。
11/21(月)	・実践後の振り返りをする。	・実践の成果を価値付け、次へ	【知識·技能】(観察)
		の意欲を高める。	☆向田小学校 5 年生のために
			できることを協力して実行
			する。【知識・技能】(観察)
			◇学級会や合同学習を振り返
			り、良かった点や課題を明ら
			かにし、次の活動に生かそう
			としている。【態度】(シート)

9 板書計画

